

Image



Empty



Tree



Water



Grass



### 一つのオケと自分の部屋

オフィスビルなどで働く人々にとって屋上はどういったものだろうか？  
屋上は誰かの場所ではない、だから自分の場所でもない。  
なにもない場所、たまには気持ちよく思うけれどどこか寂しい場所。  
だから自分の居場所がないように... そんな気にもなってしまう。

けど屋上にはオフィスビルの快楽な室内にはないもので溢れている。  
気持ちいい風や心まで暖めてくれる太陽、刺々と降り流れていく季節の雫れを感じさせてくれる匂い。  
そんな最高の屋上に自分の部屋が欲しい。



### Process



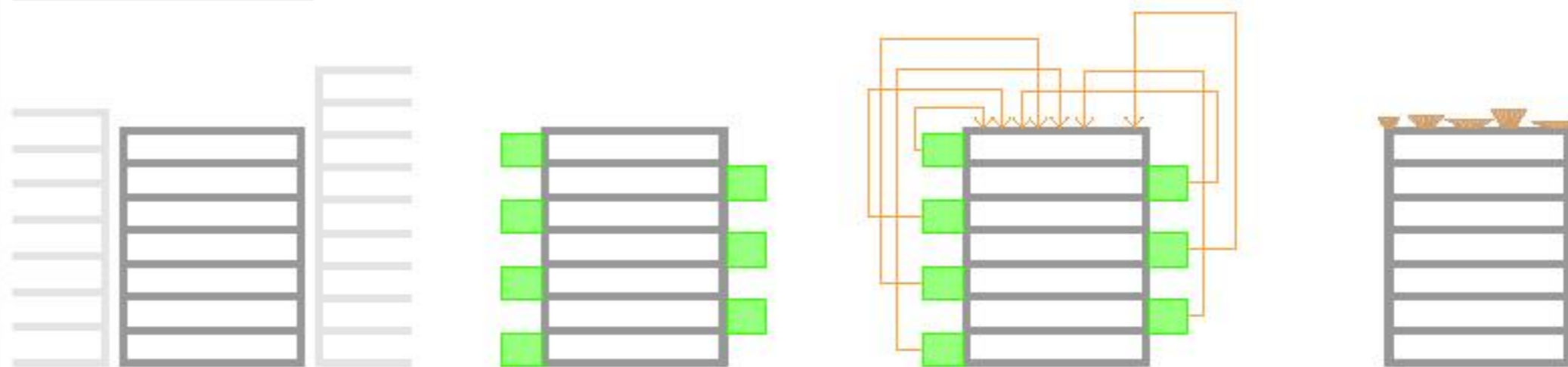
オケの元になる木材を屋上で選びます。木材はエレベーターで運べるサイズなので女性でもOK

木材を組み立てて形を作ります。用は様々なで管や釘などを使います。

オケの底になる網の中にはワイヤーを埋めるのが難しいからワイヤーを埋めて強度を十分に行います。

中身を自由に使って思い思いの屋上を作ります。

### Story



オフィスで働いている人々は自分の場所を持っていない。当然、仕事場やそのほかの場所もみんな共有されていて唯一の自分の場所は机が一つだけ。そして机をビルに囲まれているオフィスは最新の設備で環境を作りながら徐々に徐々に閉じこもった場所を作ってしまった。

今ある建物を改装してニワを作りたいけど難しい。敷地いっぱいになっているし、ニワを取り付けようと思っても構造上や経済上など様々な問題がある。だから自分たちそれぞれのニワを作りたい。

外に出せないベランダの代わりに自分たちのニワを屋上に持っていく。それぞれの思い思いのニワを出せる。そこは共有ではない自分たちだけのニワが出来る。自分たちのニワから見る屋上はなんだか自分のニワにも思えてくる。

屋上のそれぞれのニワはみんなが思い思いに作るからお花畑や本物の森林のような物まで想像は無限だ。みんなは隣のニワが少し気になるのが嬉しい。そこは共有ではない自分たちだけのニワが出来る。自分たちのニワから見る屋上はなんだか自分のニワにも思えてくる。

屋上の端に置かれているニワで育っているツタや樹木などの植物は道を運っていく人々も和ませてくれる。

